

事例発表③

これから求められる授業研究

独立行政法人教職員支援機構
研修協力員 宮迫 隆浩



独立行政法人教職員支援機構

これまでの授業研究



授業を見るときにの2つの視点



「主体的・対話的で深い**学び**」を
見取るには…

これから求められる授業研究とは



子供の視点に立った授業研究

ずっと見ていたAさんも
一生懸命考えいた。

教師の発問がよかったの
でしょうか？



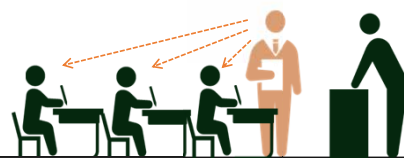
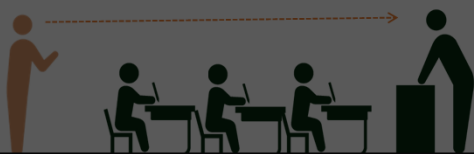
となりのBさんは、分
かっていたんですよね。

Aさんは、最初「意味が分から
ない」と言っていたのに前向き
なコメントに変わった。

ある研究公開にて

メモの内容

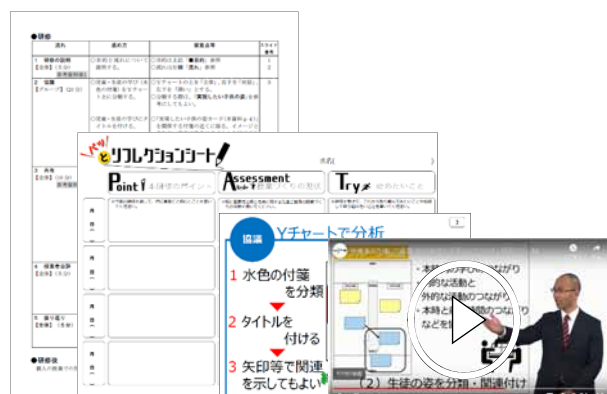
- 子供の発言・記述・動き
- 教師の指導



教職員支援機構の取組

1 校内研修プラン

2 校内研修用ブックレット



校内研修動画

プラン数：30種類

2 校内研修用ブックレット

N | + S 独立行政法人教職員支援機構



授業モデルを活用した
校内研修を拓く

9種類の授業モデル

N | + S 独立行政法人教職員支援機構

授業モデル

ワークページ／分析例のページ



30



31 32

33

議論してほしい
ポイント

子供の発話や
記述等

議論してほしいポイント①

生徒は、他教科等の学びを活用して調査結果を発表できているか。

ダム調査班
ダムは環境面から考える生徒への影響が大きいと言わざるを得ませんが、安全面から考えると、決断を未然に防ぐ効果が期待できます。

水位調査班
市役所の〇〇さんに、いしき川の水位の変化についてインタビューしてきました。

コンクリート護岸調査班
川がコンクリート護岸になると、水の流れにどれほどの影響があるか実験してみました。実験方法は次の通りです。

外来生物調査班
次のグラフは外来生物の大きさと、種数を表しています。

議論してほしいポイント②

学びの分析

ダム調査班の生徒は「環境面から考えると…。安全面から考えると…」と発言している。中学校社会科で獲得した視点を活用して資料の整理・分析を行い発表したと考えられる。

コンクリート護岸調査班の生徒は、「川がコンクリート護岸になると、水の流れにどれほどの影響があるか実験してみました。」と発言している。横造紙には「仮説」→「実験方法」→「実験の結果」→「考察」と書かれている。ここから理科の学習で重視されている学習過程を踏まえて、情報の整理・分析を行い発表したと考えられる。

学びを生み出した要因

このような生徒の姿を生み出した要因の一つには、単元配列表の活用がある。教師は単元の前半に、他教科等とのつながりを生徒と共有している(単元のイメージ「課題の設定」)。生徒が探究の過程で活用できる各教科等で育成を目指す資質・能力を意識できたと分析することができると、川の環境について多面的・多角的に考察することができる資料を用意していたことがあげられる(単元のイメージ「情報の収集」)。必要に応じてその資料を生徒に提示することで、生徒はいき川を様々な側面や角度から捉えることができる。そこから生態系調査等、他教科等の学びを活用した探究活動につながったと考えられる。三つには、理科室等を開放するとともに、各教科担任とも連携していることがあげられる(単元のイメージ「情報の収集」)。各教科担任から専門的な知見を得ることができ、他教科等の学びの活用を促進したと考えられる。

学びの分析例

学びを生み出した要因

校内研修シリーズ

校内研修用ブックレット



ダウンロード無料

まとめ

これから求められる授業研究とは



子供の視点に立った授業研究

→実現するために

- ・校内研修プラン
- ・校内研修用ブックレット

の活用を！

ご静聴ありがとうございました。